

リンゴ・モモ樹種複合地帯における モモホモプシス腐敗病に有効な薬剤

福島県農業総合センター 果樹研究所病害虫科

1 部門名

果樹 - モモ - 病害虫防除

2 担当者

菅野英二・藤田剛輝・瀧田誠一郎・尾形 正

3 要旨

福島県では、リンゴとモモが混植または隣接して栽培されていることが多く、この際、農薬飛散が問題となるが、解消する手段として、両樹種に登録がある薬剤の使用が考えられる。しかし、その薬剤数には限りがあり、慣行の散布回数を埋めることが困難となっている。そこで、モモホモプシス腐敗病に対して15日間隔の防除体系で使用しても十分な残効性が期待でき、リンゴにも共通して使用できる殺菌剤を選抜した。

- 2006・2007年のモモホモプシス腐敗病に対する残効性試験から、15日程度の残効があり、リンゴに登録がある殺菌剤としてストロビードライフフロアブル、ダコニール1000+トップジンM水和剤、デランフロアブル、ナリアWDG、ベルコート水和剤が選抜された。
- 2008年は、2006・2007年の残効性試験から選抜された殺菌剤について、連続散布、自然感染条件において再検討した結果、15日程度の残効がある殺菌剤としてナリアWDGおよびベルコート水和剤が選抜された。
- 2006～2008年に、果樹研究所および現地ほ場において、ナリアWDGおよびベルコート水和剤を梅雨期に位置づけ、散布間隔を約15日とした防除体系の試験を実施した結果、ホモプシス腐敗病に対する防除効果は慣行防除体系と比較して同等またはそれ以上であった。
- 以上から、リンゴに登録があるナリアWDGおよびベルコート水和剤はモモホモプシス腐敗病に15日程度の残効があり、モモにおいて15日間隔の防除体系で使用してもホモプシス腐敗病に十分な防除効果が得られると考えられた。

表1 モモホモプシス腐敗病に対する防除効果(2008年)

供試薬剤および濃度	11日間隔区			15日間隔区		
	調査果数	発病果率(%)	防除値	調査果数	発病果率(%)	防除値
ストロビードライフフロアブル 2,000倍	39.3	6.8	81.6	39.7	12.6	65.9
ダコニール1000 1,000倍	40.0	5.0	86.5	40.0	14.2	61.8
トップジンM水和剤 1,000倍	40.0	8.3	77.5	40.0	18.3	50.6
デランフロアブル 600倍	40.0	1.7	95.5	40.0	5.0	86.5
ナリアWDG 2,000倍	40.0	0	100	40.0	3.3	91.0
ベルコート水和剤 1,000倍	40.0	4.2	88.8	40.0	17.5	52.8
ダコレート水和剤 1,000倍	39.7	37.1		39.7	37.1	

注1)「あかつき」を供試し、1区1樹3反復とした。

注2) 供試薬剤の散布は、11日区は6月30日、7月11日、7月22日の計3回、15日区は6月30日、7月15日の計2回行った。

注3) 期間降水量は70.0mm、降雨日数は13日であった。

注4) ダコレート水和剤以外はリンゴに登録有り。

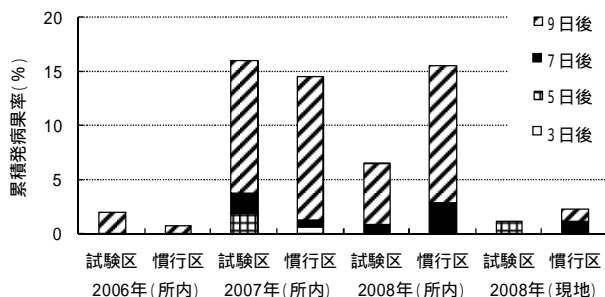


図1 ホモプシス腐敗病に対する防除効果(2006～2008年)

注) 収穫果から外觀健全な果実を選び、25 室に保存し、定期的に発病果の有無を調査した。

表2 防除体系試験の防除実績(2006～2008年)

2006年・所内「あかつき」				2007年・所内「あかつき」			
試験区		慣行区		試験区		慣行区	
散布月日	薬剤	散布月日	薬剤	散布月日	薬剤	散布月日	薬剤
6/6	C	6/2	C	6/4	C	6/4	C
6/20	A	6/12	C	6/20	A	6/18	C
7/4	B	6/22	C	7/5	A	6/28	A
7/20	C+C	7/3	B	7/20	B+C	7/9	B
8/3	C	7/12	C	8/3	C	7/20	C
		7/25	B			7/27	C
		8/1	C				

2008年・所内「あかつき」				2008年・現地「ゆうぞら」			
試験区		慣行区		試験区		慣行区	
散布月日	薬剤	散布月日	薬剤	散布月日	薬剤	散布月日	薬剤
6/4	C	6/4	C	6/2	C+C	5/27	C
6/18	C	6/18	C	6/17	A	6/7	C
7/3	A	6/30	B	7/2	A	6/17	C
7/17	B+C	7/9	A	7/16	B+C	6/27	B
8/1	B	7/17	C	7/31	B	7/6	A
		7/28	C	8/12	B	7/19	C
				9/1	C	8/1	C
						8/15	B
						8/27	C

注1) 調査用果実の収穫は、2006年は8月4日、2007年は8月7日、2008年は「あかつき」が8月4日、「ゆうぞら」が9月2日に行った。

注2) 薬剤のAはナリアWDG2,000倍、Bはベルコート水和剤1,000倍、Cはその他の薬剤を示す。

4 主な参考文献・資料

- 平成18～20年度福島県農業総合センター試験成績概要(2006～2008)